



# 助け合いで大切なこと

弘前学院聖愛中学校 3年 清野あかり

私は助け合いをしようと思う中で大切にすべき点がいくつかあると思っています。

助け合いをする中で1番大切なのは、感謝の気持ちを持つことだと思います。このことは多くの人が当たり前だと考える人が多い一方で、あまり重要視されていない事でもあります。だからこそ、自分が助けたことを重要視するだけではなく、自分が助けてもらったときに感じる感謝の気持ちを忘れずに覚えておくことにも焦点を当てるべきだと思います。そして、今度は自分自身が他の人を助け感謝の気持ちをつなげることで、人から人への助け合いが広がるのだと思います。私たちは、生活を通して、自分では気づかなくても知らないうちにたくさんの人に助けられていると思います。

もしも、お互いを助け合わないことが普通になってしまうと、協調性を失い自己中心的になります。そうすると、誰かが困っていても、『自分でないからいい。』といった考えを持つ人が増えてしまいます。また、助け合いがなくなってしまうと自分のことを全て自分でしなければならぬので、孤独な社会になってしまうと思います。ですが、助け合いをすることで、お互いの欠けているところをカバーし合うことができます。

次に重要だと思うのは、助け合いの気持ちを実際に行動に移すことだと思います。困っている人がいる時、「助けたい」と思うだけでも決して悪いことではありませんが、実際に行動を起こし、自分が出来る限りの行動をするだけでも、助けるほうも、助けられた方も嬉しい気持ちになると思います。

例えば、バスで席を譲る時や、困っている人を助けたりする事は小さな勇気が必要かもしれませんが、実際に行動を移したときに相手から「ありがとう」と言われれば、優しい気持ちになったり、自信を持ったりすることにもつながるのだと思います。

自分だけが助けるだけでは助け合いとは言えないのではと疑問に思う人がいるかもしれませんが、助けた人からの直接の見返りがなくても、自分が助けた分だけ他の誰かに助けってもらうことによっても、助け合いは成立すると思います。そうすることで、社会に助け合いが循環し、より良くなると思います。そして、私は、助け合いの好循環の始まりを自分から始めると言う気持ちが大切だと思います。

助け合いの方法は様々あり、一人ひとりの助け方があります。ですから、どの助け方が正しいとは一概に言うことはできません。しかし、一人ひとりに「困った時はお互い様」と言う気持ちがあれば、助け合いはお互いを思いやる1番良い形になるんだと思います。